

第1回第六次大野市総合計画後期基本計画策定幹事会
令和6年度第1回大野市総合計画・総合戦略推進会議

次第

日時：令和6年7月4日（木）午後7時～

場所：結とぴあ305・306

1 開会

2 市長挨拶

【第一部】 総合計画・総合戦略推進会議 -----

1 委員紹介、会長の選任

2 推進会議の趣旨説明及びスケジュールについて …資料1～3

3 議事

（1）令和5年度施策の外部評価方法について …資料4～6

（2）6分野ごとの説明・質疑（ワーキング形式） …資料7、8

【第二部】 後期基本計画策定幹事会（8時00分頃～） -----

1 委員紹介

2 幹事長、副幹事長の選任

3 幹事会の趣旨説明 …資料9、10

4 議事

（1）市民意識調査について …資料11～13

（2）分野別ワークショップ（専門部会）の実施について

大野市総合計画・総合戦略推進会議
委員名簿

(第1回)

No.	選出団体等	役職	氏名	備考
1	福井大学	学部長	岡崎 英一	交代
2	福井工業大学	教授	竹田 周平	
3	大野市議会	議員	帰山 寿章	
4	大野市立保育園保護者連合会	会計	飯田 圭佑	
5	大野市PTA連合会	会長	尾山 勝也	交代
6	みらい子育てネット大野	事務局	川田 香菜子	
7	大野市老人クラブ連合会	理事	林 幹雄	
8	社会福祉法人大野市社会福祉協議会	主任	櫻川 みゆき	
9	大野市スポーツ協会	副会長	佐々木 智恵美	
10	福井県農業協同組合奥越統括支店	課長補佐	古川 正人	
11	九頭竜森林組合	総務課長	保格 浩一	
12	大野商工会議所	課長補佐	嶋田 優子	
13	一般財団法人越前おおの観光ビューロー	副理事長	藤堂 規行	交代
14	連合福井・福井地域協議会大野地区連絡会	事務局長補佐	堀川 昌市	交代
15	一般社団法人大野建設業会	事務局長	山川 正秀	
16	大野市消防団女性分団	副分団長	清水 里美	
17	大野市文化協会	副会長	松田 典子	副会長
18	大野市区長連合会	理事	齋藤 雅彦	
19	越前信用金庫	常勤理事	佐々木 成充	
20	奥越前まんまるサイト		坂本 道子	
21	大野記者クラブ	幹事社	石畝 健	

※令和5年度に委嘱、任期は令和6年度末(R7.3.31)まで

事務局

No	所属等	役職	氏名	備考
1	大野市行政経営部	部長	吉田 克弥	
2	大野市行政経営部政策推進課	課長	小林 勝信	
3	大野市行政経営部政策推進課	課長補佐	前田 晃宏	
4	大野市行政経営部政策推進課	企画主査	雨山 直人	

第六次大野市総合計画後期基本計画策定幹事会
委員名簿

(第1回)

No.	選出団体等	役職	氏名	備考
1	福井大学	学部長	岡崎 英一	
2	福井工業大学	教授	竹田 周平	
3	大野市立保育園保護者連合会	理事	山村 かすみ	
4	大野市PTA連合会	会長	尾山 勝也	
5	みらい子育てネット大野	事務局	川田 香菜子	
6	大野市老人クラブ連合会	理事	林 幹雄	
7	社会福祉法人大野市社会福祉協議会	主任	櫻川 みゆき	
8	大野市スポーツ協会	副会長	佐々木 智恵美	
9	福井県農業協同組合	奥越統括支店次長	石田 孝治	
10	九頭竜森林組合	総務課長	保格 浩一	
11	大野商工会議所	課長補佐	嶋田 優子	
12	一般財団法人越前おおの観光ビューロー	副理事長	藤堂 規行	
13	連合福井・福井地域協議会大野地区連絡会	事務局長補佐	堀川 昌市	
14	一般社団法人大野建設業会	事務局長	山川 正秀	
15	大野市消防団女性分団	副分団長	清水 里美	
16	大野市文化協会	副会長	松田 典子	
17	大野市区長連合会	理事	齋藤 雅彦	
18	越前信用金庫	常勤理事	佐々木 成充	
19	一般社団法人大野市医師会	会長	高井 博正	
20	公益社団法人大野青年会議所	専務理事	森田 悠揮	
21	大野市木材組合		竹田 稔	
22	大野男女共同参画ネットワーク	副会長	江波 庄進	
23	奥越前まんまるサイト		坂本 道子	
24	大野市教頭会	会長	富田 啓明	
25	中野清水を守る会	会長	島田 健一	
26	下庄をよくする会 しもプロ部	会長	竹内 大策	
27	公募委員		合田 昌範	
28	公募委員		金原 陽子	
29	公募委員		畑 允子	
30	公募委員		木村 有希	

+
庁内WG 23名

事務局

No.	所属等	役職	氏名	備考
1	大野市行政経営部	部長	吉田 克弥	
2	大野市行政経営部政策推進課	課長	小林 勝信	
3	大野市行政経営部政策推進課	課長補佐	前田 晃宏	
4	大野市行政経営部政策推進課	企画主査	雨山 直人	

第六次大野市総合計画後期基本計画・
第3期大野市総合戦略策定ワーキンググループ
委員名簿

No	部局等	課室	職名	氏名	専門部会
1	教育委員会	教育総務課	課長補佐	大久保 克紀	こども・ 健幸福祉 部会
2		こども支援課	課長補佐	松川 佳子	
3	健幸福祉部	福祉課	課長補佐	善藤 照美	
4		健康長寿課	企画主査	藤田 裕子	
5		スポーツ推進課	課長補佐	平瀬 和美	
6	地域経済部	産業政策課、企業立地推進室、 中部縦貫自動車道整備促進室	課長補佐	五十川 美香子	地域経済・ くらし環境 部会
7			企画主査	松山 倫也	
8		観光交流課	企画主査	嶋田 奈津江	
9		農業林業振興課	企画主査	松本 成玄	
10	くらし環境部	建設整備課	課長補佐	山田 良夫	
11		交通住宅まちづくり課	企画主査	川島 範彦	
12		環境・水循環課	課長補佐	村中 宏美	
13		上下水道課	企画主査	佐藤 実	
14	消防署	消防本部	課長補佐	羽生 雅則	地域づくり・ 行政経営 部会
15	地域づくり部	地域文化課・住民振興室	課長補佐	清水 宏樹	
16		市民生活・統計課	企画主査	新井 大志	
17		防災防犯課	課長補佐	中山 裕子	
18	教育委員会	生涯学習・文化財保護課	課長補佐	山田 明弘	
19	行政経営部	政策推進課	課長補佐	前田 晃宏	
20		秘書広報室	室長	竹田 雄次	
21		総務課、契約管理室	企画主査	北村 邦裕	
22		財政経営課	企画主査	亀岡 有紀	
23		税務課	課長補佐	松田 智幸	

大野市総合計画・総合戦略推進会議設置要綱

(令和 3 年 3 月 2 5 日告示第 9 4 号)

(設置)

第 1 条 大野市総合計画（以下「総合計画」という。）の進捗状況の検証並びに大野市総合戦略（以下「総合戦略」という。）の進捗状況の検証及び策定を行うため、大野市総合計画・総合戦略推進会議（以下「推進会議」という。）を設置する。

(所掌事務)

第 2 条 推進会議の所掌事務は、次に掲げるとおりとする。

- (1) 総合計画に基づく施策の実施状況及び効果の検証に関すること。
- (2) 総合戦略の策定及び改訂並びに施策の実施状況及び効果の検証に関すること。
- (3) 前 2 号に掲げるもののほか、市長が必要と認めること。

(組織)

第 3 条 推進会議は、委員 2 5 人以内をもって組織する。

2 委員は、次の各号に掲げる者の中から市長が委嘱する。

- (1) 専門分野における有識者等
- (2) 関係団体から推薦があった者
- (3) 前 2 号に掲げる者のほか、市長が必要と認める者

(任期)

第 4 条 委員の任期は、2 年以内とする。ただし、再任を妨げない。

2 委員が欠けた場合の補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(会長及び副会長)

第 5 条 推進会議に会長及び副会長各 1 人を置く。

2 会長及び副会長は、委員の互選により決定する。

3 会長は、会務を総理する。

4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるとき、又は欠けたときはその職務を代理する。

(会議)

第 6 条 推進会議の会議は、会長が招集し、会長が議長となる。

- 2 会議の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(専門部会)

第7条 推進会議に、必要に応じて専門部会を置くことができる。

- 2 専門部会は、会長の指名する委員をもって組織する。
- 3 専門部会に専門部会長を置く。
- 4 専門部会の会議は、専門部会長が招集し、専門部会長が議長となる。

(庶務)

第8条 推進会議の庶務は、行政経営部政策推進課において処理する。

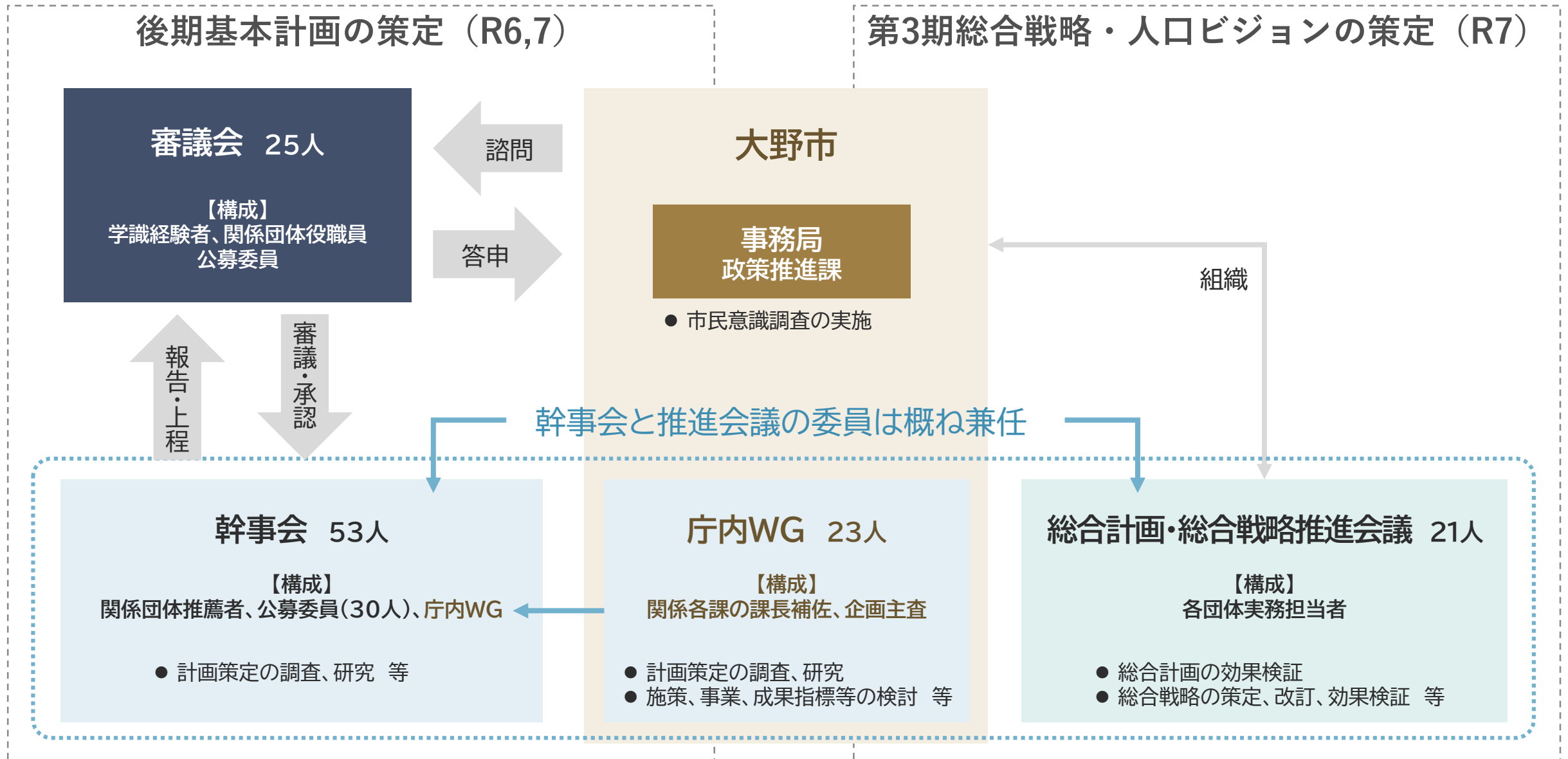
(委任)

第9条 この要綱に定めるもののほか、推進会議の運営に関し必要な事項は、市長が別に定める。

附 則

この要綱は、令和3年4月1日から施行する。

後期基本計画等の策定体制（～R7）



第六次大野市総合計画後期基本計画等策定スケジュール

資料3

令和6年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
審議会	委員推薦依頼		■第1回 6/26 14:00 諮問、会長・副会長選任、策定体制、策定スケジュール							■第2回 ・施策体系、施策展開の視点等		
幹事会	委員推薦依頼			■第1回 7/4 19:00 幹事長等選任 アンケート調査	■分野別WS (3つの分野各1回)	■分野別WS (各1回)			■第2回 ・施策体系、施策展開の視点等			
推進会議 (総合計画進捗管理、総合戦略・人口ビジョン策定)		庁内前年度評価		■第1回 7/4 19:00 前年度施策評価	■第2回 8/7 10:00 前年度施策評価				■(第3回)			
庁内WG	委員推薦依頼	■5/21 第1回		■第2回	■分野別WS (3つの分野各1回)	■分野別WS (各1回)		■第3回				
市民アンケート・ 地区別WS		設問項目検討 発注・契約			発送・回収	集計・分析				地区別WS (各公民館1回)		

令和7年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
審議会				■第3回 計画素案検討				■第4回 パブコメ案決定	■第5回 計画案決定 ⇒ 答申			
幹事会				■第3回 計画案検討	■分野別WS (3つの分野各1回)	■分野別WS (各1回)	■第4回 パブコメ案検討					
推進会議 (総合計画進捗管理、総合戦略・人口ビジョン策定)	委員推薦依頼 (任期:1年)	庁内前年度評価		■第1回 前年度施策評価	■第2回 前年度施策評価		■第3回 (総合戦略・人口ビジョン案)	■第4回 (総合戦略・人口ビジョン案決定)				
庁内WG					■分野別WS (3つの分野各1回)	■分野別WS (各1回)				■庁議 後期基本計画決定 (総合戦略・人口ビジョン決定)		
地区別WS・ パブリックコメント	地区別WS (各公民館1回)							パブリックコメント(30日)				

大野市総合計画に基づく施策の評価について

1 評価の目的

- ・ 施策の実施状況及び効果の検証を行い、大野市総合計画の着実な推進を図ります
- ・ 検証結果に応じて実施手法を見直すなど、効率的・効果的な行財政運営を図ります。
- ・ 市民目線の意見を取り入れ、市民ニーズに合った施策展開を図ります。

2 評価の実施主体

大野市が主体となり、外部委員の意見を取り入れながら実施します。

【外部委員】

- ① 大野市総合計画・総合戦略推進会議委員 21名
- ② 施策評価アドバイザー 1名（福井県立大学 経済学部 桑原 美香 教授）

3 評価の対象

第六次大野市総合計画前期基本計画に掲げる24の項目ごとに、68の施策を評価します。（裏面参照）

4 評価の流れ

（1）内部評価（施策評価）

- ・ 市役所内部において、前年度の施策の実施状況及び効果を検証します。
- ・ 「施策評価シート」（全24シート）を用いて行います。

（2）外部評価

- ・ 内部評価を踏まえて、外部委員が指定された施策評価シートについて意見を出し、評価付け（ＡＢＣＤの４段階）を行います。

（3）総合評価

- ・ 内部と外部の評価に相違があった場合、推進会議代表者及び施策評価アドバイザーの意見を参考にして、市が総合評価を決定します。

5 日程

- 7月4日（木）：第1回推進会議（内部評価結果の説明）
- ～7月16日（火）：外部委員の外部評価作業
- ～7月下旬：総合評価の決定（推進会議代表者及び施策評価アドバイザーの意見を参考）
- 8月7日（水）：第2回推進会議（総合評価結果の報告）
- 以降～：総合評価結果を踏まえた施策の改善や立案（翌年度に向けて）

6 その他

当評価は、第2期大野市総合戦略及び関係計画に基づく施策の検証を兼ねます。

将来像	基本目標	項目	目指す姿	施策	
人がつながり地域がつながる 住み続けたい結のまち	こども 未来を拓く 大野っ子が 健やかに育つまち	1 子育て	安心して結婚・出産・子育てができ、すべての子どもたちが夢を持って笑顔で健やかに育つまち	1-1 結婚から子育てまで切れ目のない支援体制を確立します 1-2 保護者のニーズに応じた子育てサービスを提供します 1-3 サポートを必要とする子どもと家庭を支援します	
		2 学び	子どもたちの誰かが学力や夢に挑戦する力、ふるさとを愛する心を育むまち	2-1 優しく賢くたくましい大野人を育てます 2-2 児童生徒の学習環境を整えます 2-3 地域と学校が連携して子どもの育ちを支えます	
	健康福祉 健康で自分らしく 暮らせるまち	3 健康・医療	市民が、自ら健康づくりに取り組み、地域医療体制や感染症対策が整った環境で、健やかで幸せに暮らすまち	3-1 赤ちゃんからお年寄りまで、ライフステージに応じた切れ目のない健康づくりを支援します 3-2 地域医療体制の充実を図ります 3-3 感染症などの予防や対策に取り組む体制を整えます	
		4 地域福祉	市民が、お互いに人格と個性を尊重し、支え合い、助け合い、住み慣れた地域で安心して暮らすまち	4-1 地域共生社会の実現に向けて取り組みます 4-2 高齢者が安心して生きがいを持って暮らせるよう支援します 4-3 障がいのある人が住み慣れた地域で安心して暮らせるよう支援します	
		5 スポーツ	市民が、それぞれのライフステージでスポーツを楽しみ、健康の増進と競技力の向上が図られ、豊かで充実した生活を送るまち	5-1 スポーツを楽しむ取り組みを推進します 5-2 競技力の向上を支援します 5-3 子どものスポーツ活動の充実に取り組みます	
	地域経済 歴史・風土と 新たな強みを 生かした 活力あるまち	6 農業	次世代技術を生かした農業の普及が進み、多様な担い手によって、活力ある農山村が引き継がれているまち	6-1 魅力ある農業経営を実現します 6-2 特色ある経営者の自産自銷水産物の生産や販売を促進します 6-3 多様な人材の活躍による農山村の維持と活性化を目指します 6-4 農地の適切な整理と有効利用を図ります	施策展開 ■SDGsの推進 ■分野を超えた連携 ■ニューノーマルへの適応とデジタル化の推進
		7 林業	豊かな森林資源を活用した林業により、資源の循環と森林の多面的機能が発揮されたまち	7-1 林産物の生産能力の向上を支援します 7-2 山林を適切に管理します 7-3 林業従事者の確保と育成に取り組みます	
		8 商工業	人の交流や物流が拡大し、多くの店舗や企業が活気に満ちたまち	8-1 事業者の経営課題に対し総合的に支援します 8-2 まちなかのにぎわいを創出します	
		9 観光業	県内外や国外から多くの観光客が訪れ、にぎわい、経済活力にあふれるまち	9-1 魅力ある地域資源を磨き上げ、観光資源として活用します 9-2 観光客の来訪を増やし満足度を高める取り組みを推進します 9-3 観光営業活動の強化と情報発信を充実します	
		10 働く環境	新たな魅力ある企業の立地や市内企業の働きやすい環境整備により、若者や子育て世代をはじめ、市民が生き生きと働くまち	10-1 企業の魅力や生産性、労働環境の向上と、多様な人材の就労を支援します 10-2 企業誘致を進めるとともに新たな産業を育成します	
	くらし環境 豊かな自然の中で 快適に暮らせる まち	11 自然環境・こみ	市民が誇る豊かで美しい自然環境が維持され、循環型社会が形成されたまち	11-1 脱炭素社会の実現に向けて取り組みます 11-2 環境の美化と環境教育を推進します 11-3 こみの減量化と資源化を推進します	
		12 水環境	恵まれた水環境や地域固有の水文化が継承され、人と水との豊かなかがわが実現されたまち	12-1 流域マネジメントを推進します 12-2 水循環に関わる人材の育成と水文化の継承を推進します 12-3 気象変動や地下水障害への対応に取り組みます 12-4 河川や地下水の水質保全に取り組みます	
		13 生活環境	大野らしい景観が守られ、快適に暮らすことができる生活環境が整ったまち	13-1 景観に配慮したまちをつくらします 13-2 安全で快適な住宅環境を整備します 13-3 上下水道基盤を整備し適切な維持管理を行います	
		14 消防・減災	災害に強い強靱なまちづくりが進み、緊急時の情報伝達や消防・救急の体制が充実したまち	14-1 災害に備えた体制を整備します 14-2 消防・救急体制を強化します	
		15 道路	生活や産業の基盤となる安全な道路と広域ネットワークが整備され、通勤圏や市場が拡大し、交通人口の増加によりにぎわうまち	15-1 幹線道路などの整備を促進します 15-2 雪や災害に強い生活道路を整備、維持します 15-3 健康づくりや低炭素社会の実現などに向けて取り組みます	
		16 公共交通	誰もが利用しやすい公共交通網が整備されたまち	16-1 公共交通の維持とまちづくりへの活用を推進します 16-2 北陸新幹線福井・敦賀開業や中部縦貫自動車道開通、人口減少社会を見据え、地域交通のあり方を検討します	
	地域づくり みんなでつながり 地域が生き生きと 輝くまち	17 ひと・地域	市民が、生涯にわたって主体的に学び、地域づくりに積極的に取り組むまち	17-1 地域を担う人づくりや生涯学習を推進します 17-2 地域での交流を深め、支え合いを広げます 17-3 地域住民が利用しやすい活動拠点をにつくらします	
		18 防災力・防犯力	地域の防災力・防犯力が高まり、災害や事故に備えた体制が整ったまち	18-1 地域における防災力の充実と強化を図ります 18-2 犯罪や事故を防止します 18-3 空き家などの対策を推進します	
		19 文化芸術	市民が文化や芸術に親しみ、文化財や伝統文化が継承され、郷土の歴史や文化の魅力が発信されているまち	19-1 文化芸術の振興と継承を推進します 19-2 文化遺産・自然遺産を保護し活用します 19-3 郷土の歴史や文化の魅力を発信します	
		20 移住定住	「大野に住みたい、住み続けたい」という人が増え、移住者を受け入れる環境が整ったまち	20-1 住まいや仕事の確保を支援します 20-2 地域での受け入れ環境を整えます 20-3 大野の魅力を伝えます	
	行政経営 結のまちを 持続的に支える 自治体経営	21 情報共有	市内外に大野の魅力が発信され、市民に行政情報が正確に伝わり理解され、市民の意見が市政に生かされているまち	21-1 情報発信や情報提供の充実を図ります 21-2 施策などの情報を市民と共有し、市民の意見を市政へ反映します	
		22 協働・連携	自治会や団体、学校、企業、行政など、さまざまな活動主体が、お互いの立場と役割を理解し、協働・連携してまちづくりに取り組むまち	22-1 市民協働のまちづくりを進めます 22-2 他の自治体などとの協働や連携によるまちづくりを進めます	
		23 市民サービス	デジタル化が進む中、誰もが利用しやすい市民サービスが提供されているまち	23-1 申請などの手続きのオンライン化を推進します 23-2 分かりやすく丁寧な市民サービスを提供します	
		24 行財政	計画的で効率的な財政運営と、市民の期待に応えられる人材と組織により、安定した自治体経営が堅持されているまち	24-1 持続可能な財政運営を行います 24-2 次世代を見据えた「シゴト改革」に取り組みます 24-3 人材育成と組織の整備を進めます 24-4 市有財産を適正に管理し、効果的に効率的な活用を図ります	

外部評価作業要領

1 役割分担

- ・ 担当する施策評価シートに対して「評価」と「意見」をお願いします。
- ・ 個人ごとに行っていただきます(グループではありません)。

(1) 大野市総合計画・総合戦略推進会議委員(敬称略)

No.	所属	氏名	担当する施策評価シート
1	福井大学	岡崎 英一	全般
2	大野市立保育園保護者連合会	飯田 圭佑	●「こども」分野 1 子育て 2 学び
3	大野市PTA連合会	尾山 勝也	
4	みらい子育てネット大野	川田 香菜子	
5	大野市老人クラブ連合会	林 幹雄	●「健康福祉」分野 3 健康・医療 4 地域福祉 5 スポーツ
6	(社福)大野市社会福祉協議会	櫻川 みゆき	
7	大野市スポーツ協会	佐々木智恵美	
8	福井県農業協同組合奥越統括支店	古川 正人	●「地域経済」分野 6 農業 7 林業 8 商工業 9 観光業 10 働く環境
9	九頭竜森林組合	保格 浩一	
10	大野商工会議所	嶋田 優子	
11	(一財)越前おおの観光ビューロー	藤堂 規行	
12	連合福井福井地域協議会大野地区連絡会	堀川 昌市	
13	福井工業大学	竹田 周平	●「くらし環境」分野 11 自然環境・ごみ 12 水環境 13 生活環境 14 消防・減災 15 道路 16 公共交通
14	(一社)大野建設業会	山川 正秀	
15	大野市消防団	清水 里美	
16	大野市区長連合会	齋藤 雅彦	●「地域づくり」分野 17 ひと・地域 18 防災力・防犯力 19 文化芸術 20 移住定住
17	大野市文化協会	松田 典子	
18	奥越前まんまるサイト	坂本 道子	
19	大野市議会	帰山 寿章	●「行政経営」分野 21 情報共有 22 協働・連携 23 市民サービス 24 行財政
20	大野記者クラブ	石畝 健	
21	越前信用金庫	佐々木 成充	

(2) 施策評価アドバイザー

No.	所属	氏名	担当する施策評価シート
1	福井県立大学	桑原 美香	全般

2 評価様式 別紙「外部評価シート」による(別途、同様式のWEBフォーム有り)

3 外部評価シートの記載要領

(1) 評価

- ・ 担当する施策評価シートについて、**ABCD の4段階**で評価をお願いします。
- ・ 担当しない施策評価シートに対する評価は**不要**です。

【評価基準】

- A【順 調】…成果指標を達成し（達成見込みであり）、取り組みの成果も上がっている（成果が上がることは確実である）と思う。
- B【概ね順調】…成果指標は概ね達成され（達成見込みであり）、取り組みの成果も上がっていると思うが、課題や問題点も見受けられると思う。
- C【要改善】…成果指標の達成（達成見込み）は十分といえず、取り組みの成果を上げるために改善の余地を残していると思う。
- D【見直し】…成果目標の達成（達成見込み）には程遠い状況であり、成果を上げるために抜本的な見直しが必要と思う。

(2) 意見

- ・ 担当する施策評価シートに各1つ以上の意見を記載願います。
- ・ 担当しない施策評価シートに対する意見は任意です。
- ・ 「である調」や「箇条書き」などで簡潔に記載ください。
- ・ 個人的な苦情や要望ではなく、施策に対する全体的な意見をお願いします。
- ・ 意見の過多や重複がある場合は、取りまとめの段階で記載を省略する場合があります。また、文章の表現を修正する場合があります。

(3) その他

- ・ 市役所の内部評価の基準は、資料6をご参照ください。
- ・ 市の記載内容についてご不明な点やご質問がある場合は、電話やメール(seisaku@city.fukui-ono.lg.jp)などにて政策推進課までご連絡をお願いします。

過去の評価結果はこちら



4 提出方法

(1) 郵送(返信用封筒による) 又は持参

(2) 電子メール データ様式が必要な場合、(seisaku@city.fukui-ono.lg.jp)にご連絡ください

(3) WEBフォーム 下記QRコード又はURL(<https://forms.gle/HKNvA7Gu6TE9M66X6>)

5 提出期限 7月16日(火)

【問い合わせ先・提出先(市役所2階22番窓口)】

大野市行政経営部政策推進課 前田、雨山

〒912-8666 大野市天神町 1-1

電話 0779-66-1111(内線 2512) FAX 0779-65-8371

E-mail seisaku@city.fukui-ono.lg.jp

WEBフォームはこちら



市役所の内部評価の基準等		施策評価シート		No. 20	
評価課		地域文化課			
関係課		防災防犯課、交通住宅まちづくり課、産業政策課、生涯学習・文化財保護課、政策推進課			
基本目標		地域づくり みんなでつながり地域が生き生きと輝くまち			
項目		移住定住		目指す姿 関連するSDGs	
		「大野に住みたい、住み続けたい」という人が増え、移住者を受け入れる環境が整ったまち			
①施策の取組状況及び成果					
No.	施策	細区分	取組状況及び成果	戦略	達成度
20-1	住まいや仕事の確保を支援します	①	●移住施策を部局横断的に進めるため、移住定住促進に向けた共通理解や施策連携等を目的に、令和5年度に初めて関係課のGL級による移住定住推進会議を開催し、移住定住促進に対する方向性の確認と各課等が連携して行う事業の提案を募り、取り組むべき事業を検討した。また、関係部局の職員による「IUサポートチーム会議」を立ち上げ、移住相談の情報を共有しながら、年間149件の相談に応じた。 ●移住関心層に本市の移住情報を届け、本市の認知度向上を図ることを目的に、移住応援サイトをインターネット上で広告表示させる運用を3カ月間実施した。結果、移住応援サイトの閲覧PV数が約97,000件で昨年度と比較して約35%アップしたほか、広告表示をきっかけに、新たに資料請求20件、オンライン相談1件の相談対応を行った。 ●令和5年度に市の支援を受けて移住した人は54人(31世帯)で、令和4年度の34人(20世帯)を上回り過去最高となった。 ●空き家確保...促進するために行う、空き家の家財道具処分への支援に5件、空	○	
			●物件も含め...報紙「あきや...物取引士、...47件の相...助した。	※	
20-2	地域での受け入れ環境を整えます	①	●移住者が安心して暮らせるよう移住者同士の交流を促すため、市が移住定住支援業務を委託... 【施策の達成度】 施策の達成度を以下の基準で評価しています。 (この場合、22-2の施策の達成度を記載しています。) (評価基準) ◎...計画した以上に進捗したもの、期待した以上の効果を得ることができたもの ○...概ね計画どおり進捗したもの、期待した効果を概ね得ることができたもの △...進捗が遅れたもの、期待した効果を得られなかったもの	○	
			●大野の魅力を伝えます	※	
20-3	大野の魅力を伝えます	①	●ふくい嶺北連携中枢都市圏事業で嶺北10市町が作成する「就職支援相互PRリーフレット」に市の移住支援情報や働き方改革認定企業、企業情報誌SEEDについて掲載し、各市町の関係課、施設に配架するとともに、市ホームページでもリーフレットについて広報を行った。 ●IUターン促進策として、IUターン希望者が市内で就職活動や住居探しをするための交通費等を支援し、9組の利用があった。	※	
		②	●移住希望者の不安と心配を解消するため、さまざまな移住支援をまとめたパンフレット「大野に来て見て住んで応援パッケージ」を作成し、移住定住サイトや「福井暮らしはたらくサポートセンター」などを通じて情報発信を行った。 ●福井県の6月補正予算で事業化された「ふく育県留学事業」のモデル市町として県の採択を受けて、都市部の子育て世帯2組が市内保育園等で子どもの一時預かりを利用し、大野の子育て環境の良さを体感しながら長期滞在(5日間程度)する実証事業を実施した。	※	
		③	●大都市圏で大野市の魅力や移住定住施策を発信するため、県が主催する移住フェアや、ふくい嶺北連携中枢都市圏の構成市町が共同で出展する移住フェアに参加し、移住相談に対応した(東京2回、大阪2回、名古屋1回)	※	

②成果指標

No.	指標	内容	【成果指標】 令和5年度末時点の成果指	令和5年度実績	令和6年度目標	令和7年度目標	戦略
1	定住のための住宅取得等助成件数	定住のための住宅取得...ムに対する助成件数(累計)	件	50 (累計)	68 (累計)	50 (累計)	
2	総人口に対する20～40代人口の割合	総人口に対する20～40代人口の割合	%	29.5	28.4	28.1	29.5
3	移住相談件数	IUサポートチームが受けた移住相談件数(累計)	件	—	279 (累計)	428 (累計)	500 (累計)

「戦略」欄の※は第2期大野市総合戦略に関連付いた取り組み

【成果指標の検証】
成果指標の令和5年度実績について、達成状況を検証内容(要因分析など)を記載して

1	3世代同居改修に対する支援を行い、定住に向けた	3世代同居改修に対する支援を行い、定住に向けた					
2	前年度数値を下回る結果とな	前年度数値を下回る結果とな					
3	IUサポートチーム会議による移住相談の情報共有により、移住相談者に対するきめ細かなサポート、情報提供を行った結果、年間の移住相談件数が昨年度を上回る結果となった。	IUサポートチーム会議による移住相談の情報共有により、移住相談者に対するきめ細かなサポート、情報提供を行った結果、年間の移住相談件数が昨年度を上回る結果となった。					

①②を踏まえた内部評価

A

【成果指標の検証】
「①取組状況及び成果」及び「②成果指標」を踏まえた最終の内部評価を記載している

(評価基準)
A【順調】
成果指標を達成し(達成見込みであり)、取り組みの成果も上がっている(成果が上がることは確実である)。
B【概ね順調】
成果指標は概ね達成され(達成見込みであり)、取り組みの成果も上がっていると認められるが、課題や
C【要改善】
成果指標の達成(達成見込み)は十分といえず、取り組みの成果を上げるために改善の余地を残している。
D【見直し】
成果目標の達成(達成見込み)には程遠い状況であり、成果を上げるために抜本的な見直しが必要である。

◆ 移住者交流会「まち歩き&フォトカレンダーづくり」
◆ ふく育県留学事業のモデル実施(一時預かり保育の利用)
◆ 地域おこし協力隊の活躍